



# 山口育児院だより

編集・発行 / 社会福祉法人 山口育児院 2019.6.第40号  
 〒753-0082 山口市水の上町5-27 Tel 083-922-1027 Fax 083-922-2389  
 e-mail y-ikuji@estate.ocn.ne.jp URL http://y-ikuji.sakura.ne.jp/

今年は何がきっかけから児童福祉に関する痛ましい事件が起こっています。千葉県での小4女児虐待死、山口市での生後2ヶ月の女児虐待死、東京都渋谷区では児童養護施設卒院生による施設長刺殺事件。事件が起きる度に関係機関の対応に非難が起っています。また、東京都世田谷区では施設職員が入所児童に「ブス」と発言したことが虐待認定されました。

これらの事件に対して我々は批判を真摯に受け入れなければなりません。何より、尊い命が奪われることは絶対にあつてはならないことです。児童福祉に携わる者にとっては大変厳しい状況になってきていることは間違いありません。が、そのような中で、我々ほどのように子ども達の支援を行っているには良いのでしょうか。

私事になりますが、私には師匠が二人います。一人は僧籍に入る時の得度の師匠（H25遷化）で、もう一人が修行の師匠（現京都南禅寺派管長）です。私はこの二人の師匠をとて尊敬しています。

師匠には何があっても嘘がつかません。しかしそれは、尊敬する師匠だから嘘をついてはいけないと思つているのではありません。尊敬する師匠には嘘をつきたくないと思つています。

これは師弟関係だけのことではなく、子どもの養育にも同じことが言えるのではないかと思います。難しい時代だからこそ、我々親、大人、職員が子どもに尊敬される存在にならなければなりません。何があつても子どもが問題なのではなく、常に自分自身がどうなのかというのを考えていく。但し、「子どもに尊敬されたい」という気持ちがある内は駄目です。あくまでも己の為に自身を整えていく。そういう生き方をしている大人を見て子ども達が育っていく。その結果として尊敬されるというようにならないといけません。

もしかしたらそのような存在になるのは一生かかっても無理なのかもしれません。理想論だといわれるかもしれませんが、たとえ無理だとしてもそのことを常

に意識して生きている者とそうでない者とは必ず大きな差が生まれます。子どもの養育に携わる者が理想をもてないようでは駄目ではないでしょうか。

山口育児院の基本方針に、「よくととのえしおのれにこそまことえがたきよるべをぞえん」とあります。よく整えられた自分こそ本心に自分か振り所とするべき存在であるということです。よく整えられた者が尊敬され、そういう大人には子どもも嘘をつけないつきたくないと、必ず思つようになります。そうしなければ力と言うことを聞かすような養育（養育とは言いませんが・・・）はなくなり、痛ましい事件もおのずと減っていくでしょう。

昨今、テレビのバラエティ番組等では当たり前のように「ブス」「デブ」「ハゲ」等の言葉が使われています。遊びや軽口をすべて否定するつもりはありませんが、一連の事件と併せて今一度我々自身の足元を見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。

## 子どもの養育に必要なこと 施設長 武重俊之



平成三十年度決算報告は次の通りです。  
 今後とも宜しくお願い申し上げます。

### 平成三十年度決算報告

		自平成30年4月1日～至平成31年3月31日		
		本部	施設	
事業活動による収支	収入	措置費収入	16,940,892	
		その他の事業収入	1,050,236	
		経常経費寄附金収入	170,000	
		受取利息配当金収入	266	
		その他の収入	1,186,006	
	経常収入計	170,266	17,331,019	
	支出	人件費支出	121,389	10,943,345
		事務費支出	100,309	6,028,645
		事業費支出	0	25,545,583
		その他の支出	0	642,643
経理区分間繰入金支出		0	0	
経常支出計	221,698	14,165,621		
経常活動資金収支差額	-51,432	31,661,803		
施設整備による収支	収入	施設整備補助金収入	2,365,880	
		固定資産売却収入	60,000	
	支出	施設整備等収入計	2,425,880	
		設備資金借入金元金償還支出	1,320,000	
		固定資産取得支出	4,601,600	
施設整備等支出計	5,921,600			
施設整備等資金収支差額	-3,495,720			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	158,615	
		その他の活動による収入	116,800	
	支出	財務収入計	275,415	
		積立資産支出	19,488,075	
		その他の活動による支出	24,280	
その他の活動支出計	19,512,355			
財務活動による収支差額	-1,923,940			
当期資金収支差額 合計	-51,432	8,929,143		

平成31年3月31日現在			
資産の部		負債の部	
流動資産	50,661,960	流動負債	6,235,159
固定資産	270,108,913	固定負債	16,825,900
基本財産	124,718,393	負債の部合計	23,061,059
その他の固定資産	145,390,520	純資産の部	
		基本金	61,852,105
		国庫補助金等特別積立金	95,212,785
		その他	124,000,000
		次期繰越活動収支差額	16,644,924
		純資産の部合計	297,709,814
資産の部合計	320,770,873	負債及び純資産の部合計	320,770,873

～歩々清風～

新元号「令和」の時代がスタートしました。本号の記事のいくつかは「平成」の時代に書いたものです。平成から令和へと、時代を超えての記念すべき「山口育児院だより」となりました。

今の子ども達は平成、令和と二つの時代を、30歳以上の大人は昭和、平成、令和と三つの時代を生きていることになりました（明治、大正生まれの方もいらっしゃるでしょう）。

時代の流れにしっかりと対応していくことは大切ですが、しかし、「和して流れず」という言葉があるように、決して流されることのないように自分をしっかりと持つて生きたいものです。ただ、できれば「山中暦日無し」、暦を気にせずにのんびりと過ごしたいというのが本音ではあります。・・・

ともあれ、新しい時代が始まりました。良い時代になるよう、頑張りましょう！（丁）



御案内

育児院では、地域の方々に施設を利用していただく為に、いろいろなサービスを実施しています。

トワイライトサービス  
 仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かり致します。

短期入所サービス  
 病気、事故、出産等でお子さんの養育が難しくなつた時等、短期間お預かり致します。

当院をご利用ご希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ボランティアの受け入れもしております。

福祉に関心のある方、是非一度ご来院下さい。

# 「平成」から「令和」へ ～ 良い時代にするには ～

2019年5月1日、元号が「平成」から「令和」に変わり、新たな時代がスタートしました。筆者は昭和生まれで学生時代に平成に変わり、今回で二度目の改元を経験することになります。

新元号の「令和」は、  
初春令月、氣淑風和、  
梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香

という万葉集の歌が由来になっており、「初春の佳き月で、空気は清く澄みわたり、風はやわらかくそよいでいる。梅は佳人の鏡前の白粉のように咲いているし、蘭は貴人の飾り袋の香のように匂っている」という意味で、そこから「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味を込めたそうです。

明治は「天下は明るい方向に向かつて治まる」、大正は「政治を行なう人が民の意見や言葉を喜んで聞き入れるならば政治は正しく行なわれる」、昭和は「国民の生

活を安定させ、世界の国々と共存する」、平成は「地は平和に治まり、天は順調に廻っている」という意味だそうです。今度の令和は「和合」を表しているように感じます。

和合といえ、山口育児院の理念の「慈・和・直」の「和」も和合や協調性を示しています。以前「忘己利他」という言葉をご紹介しましたが、己を忘れて他を利用するという気持ちを持つことで初めて和合は成り立つのだと思います。新時代の令和は、今一度山口育児院の創設の理念に立ち返る良い機会としなければなりません。

元号は一世一元の制に則り、天皇が交代する時に変わります。山口育児院の母体である洞春寺は臨濟宗の寺院ですが、仏教と天皇にはいろいろ縁があります。

お寺では毎月祝聖を行っていただきます。祝聖とは、毎月1日と15日に通常の朝のお勤めの前に今上天皇陛下の聖寿を祝祷し、国家の安寧

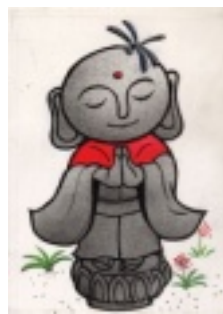
と人々の幸せを祈願する行事です。5月1日には改元初日、新天皇陛下に対する初めての祝聖行事をお勤めしました。

また、日本国憲法で定められている「象徴天皇制」にも仏教が関わっています。新憲法を作成する時に、天皇の処遇の観点からマツカーサーに拒否されて行き詰っていた当時の内閣書記官長が静岡県三島市にある龍沢寺の山本玄峰老師に相談に行ったところ、老師は「わしは、天皇が下手に政治や政権に興味を持つたら、内部抗争が絶えないと思う。なぜかという、天皇の詔勅を受けているんだといって、天皇の権力を担ぎ廻って派閥抗争をする。だから、天皇が一切の政治から超然として、空に輝く太陽のごとくしておいて、今度は、その天皇の大御心を受けて、真・善・美の政治を実現する」ということと、善々身を慎んで政治をすることになれば、天皇がおられるのもっと立派な民主主義国ができるのではないか。天皇は空に輝く象

徴みたいなものだい」（玄峰老師「大法輪閣」と言われ、そこから「象徴天皇制」ができたと言われています。

このように仏教と天皇は歴史的に深い関わりを持っており、この度の改元でも、各地の寺院で祝聖行事が行われたことと思います。

平成から令和へ。単に元号が変わったというだけでなく、時代の区切りに我々自身が何を思うかが大切です。平成は戦争のない時代でした。これは素晴らしいことだと思います。しかし反面、自然災害の多い時代でもありました。自然災害そのものはやむを得ないことかもしれませんが、我々人間が原因で起きている災害があるとすれば、そこは謙虚に反省し、考え、改めていかなければなりません。いつの時代でも同じですが、良い時代になるかどうかは我々自身の心掛け次第です。



## とまどいの中で 看護師 五十部二ず恵

山口育児院で働かせていただいた3年目を迎えました。

2年前、それまで看護職のなかった山口育児院にも看護師を配置することになり、深野理事長先生のお声かけがあったこと、ちょうど「そろそろ少し働きに出てみるのも良いかもしれない」と考えていたことが重なり、山口育児院でお世話になることを決めました。

とはいっても、総合病院の産婦人科と整形外科で約10年間勤務した後、出産を機に退職したため、11年という長いブランクがあり、働くことへの不安も多くありました。当時小学校6年生になった息子と3年生になった娘、そしてなにより夫の後押しがあつてこそ新たな挑戦をさせていただくことができたのだと思います。

看護師といっても、病院とは勝手が違います。子ども達の病院受診が主なことはいえ、受診する科も様々で年齢もまちまち。自身自身子育て真っ只中であるものの育った環境も皆違い、特性も様々



な3歳から18歳の子も達にどのように接したら良いのかまるで分からず、どうしたものか・・・と思っていました。スタッフの皆さんにいろいろと教えていただき、今を過ごさせています。まだまだ分からないことのほうが多く、教えていただくことの多い日々ですが、この2年間少しずつ子ども達のこととが分かってそれぞれの成長を感じ、うれしく思うこともあり、子ども達の長い人生の一時にかかわらせてもらっているんだなと思うことが多々あります。

病気や怪我はないに越したことはありません。そういう意味では私とは関わらなくて済むのが一番良いのかもしれませんが、これからは山口育児院のスタッフみんな子ども達を見守ってあげたいと思っています。

### 病院受診は無料??

施設の看護師の主な業務の一つに子ども達の病院受診があります。が、受診理由には様々なものがあります。山口育児院の子も達は、予防接種や定期受診も含まれてはいますが、年間に400件以上も受診をしています。もちろん病気や怪我等健康を考えると受診は必要なことですが、中には「受診しなくても・・・」と思うようなこともあります。私が山口育児院で働き始めて思ったことは、子ども達が病院を受診することをとても簡単と考えているのではないかということでした。

「ちょっと喉が痛いんよ」「鼻水が出るんよね」等々、訴えは様々ですが、子ども達はすぐに「病院に連れて行って!」と言って来ます。病院を受診すれば当然お金がかかります。しかし子ども達は自分で直接お金を払うわけではないので、その大変さがよく理解できていないのではないのでしょうか?

自分が払わないからといって病院受診は決して無料ではありません。そのことを子どもたちにはしっかりと教えていかななくてはならないと思います。施設の卒院生から、自立して初めてそのことを実感して大変な思いをしたという話も聞いています。

### 看護師として望むこと

子ども達の健康には十分に配慮していきませんが、子ども達には病院受診の前にまず「うがいをする」「鼻水はかんで出す」「睡眠をきちんととる」「排便コントロールをする」等、自分の健康管理がしっかりとできるようになってもらいたいと願っています。治療の前に予防することが何より大切です。そのことが将来の自立にも役立つでしょう。

